

受験者の皆様へ

日本国際教育支援協会では、日本語能力試験・日本語教育能力検定試験の実施にあたって、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策として、下記の対応を予定しています。

会場における感染予防対策

- 試験官・会場スタッフは、試験当日、検温及びヘルスチェック表で体調に問題ないことを確認の上、勤務にあたります。
- 試験官・会場スタッフは、全員マスクを着用し、必要に応じて、ビニール製の手袋を着用いたします。
- 試験会場では、机、椅子、ドアノブ等のアルコール消毒を実施し、会場入り口にはアルコール消毒液を設置いたします。
個人用のアルコール消毒液、ビニール手袋(透明)の会場への持ち込みは認めます。
- 試験会場はソーシャルディスタンスを考慮した座席配置とし、受験者間の距離を確保するようにしています。
- 会場内の窓開け、ドア開放等により、換気を行います。
- 会場内では、飛沫感染を避けるため、口頭での説明案内は最小限に留めます。

受験者の皆様へのお願い

- 試験当日は必ず「自己ヘルスチェック表」でご自身の健康状態を確認の上、受験会場で提出してください。
- 試験当日は受験者全員に検温を行いますので早めの来場にご協力ください。発熱(37.5℃以上)が確認された場合、受験を控えていただきます。
- 体調不良、体調に不安のある方は受験をお控えください。
- 試験会場内では必ずマスクを着用してください。マスクを着用されない場合は受験いただけません。
(本人確認の際には一時的にマスクを外していただきますので、ご了承ください。)
- 手洗い、手指のアルコール消毒を励行してください。
- 会場内では会話は最小限とし、他の受験者とは適度な距離をお取りください。
- 会場内の窓開け、ドア開放等により、換気を行いますので、室温の高低に対応できるよう服装にご注意ください。
- 密集を避けるため、受験者のみの来場をお願いいたします。同伴者のための控室はありません。
また、密集を避けるため、会場入り口近辺での待ち合わせはご遠慮ください。
- 試験中に頻繁に咳をする等の症状が確認された場合、別室に移っていただき、受験していただくことがありますので、ご了承ください。

- 試験の適正な運用を図るため、試験官、監督者の指示に従わない場合は、退場とさせていただきます場合があります。
- 試験会場において、感染症に感染された方が確認された場合、法令に基づき受験者の個人情報（連絡先）を保健所等公的機関に提供することがあります。あらかじめご了承ください。
- 試験日から14日以内に、発熱（37.5℃以上）が数日続く、あるいは新型コロナウイルス感染症陽性と判明した場合は、本協会までご連絡ください。

以上